

新型コロナウイルス感染症対策について

東北女子短期大学

今般、国内の新型コロナウイルス感染拡大に伴い、本学でも入学式の取りやめ、前期授業開講延期等の措置が行われました。また、青森県内でも発症者が確認され、今後予断の出来ない状況の続くことが考えられます。学生・教職員の皆さんは、引き続き感染拡大防止のための諸対策にご協力をお願いします。

感染拡大を防ぐには、まず、自分自身の感染を防ぐことが基本です。マスコミでも広く報道されている通り、「三密環境の重複」を避けるため、①密閉空間にしないための換気の徹底。②多くの人が手の届く距離に集まらないための配慮。③近距離での会話や大声での発生を出来るだけ控えるなど、保健管理や環境衛生を良好に保つ取組を進めていくとともに、咳エチケットや手洗いのなどの基本的な感染症対策を徹底することが重要です。同時に、個人の「健康観察記録」と「1日の行動記録」をきちんと残すことも大切です。特に、学外実習に出る予定の学生の皆さんは、今後、同居者も含めたこれらの記録の提出を求められることもありますので、日々の検温を含めた体調管理記録を是非忘れずに取って下さい。

【 学生の皆さんへ 】

1. 日常生活で注意すること、守ってほしいこと

- 1) 「健康観察記録」と「1日の行動記録」を取る。
- 2) 手洗い・うがい・咳エチケット・マスク着用の励行。
- 3) 三密環境の回避。
- 4) 報告義務（体調異変・欠席届等）の遵守。
- 5) 学友会活動の原則禁止。
- 6) 海外旅行や国内旅行等の不必要な移動の自粛。
- 7) 大学発信のネット情報やクラス担任からの連絡確認。

2. 発熱などの風邪症状がみられた場合の対応

感染拡大防止のため、発熱などの風邪症状がみられた場合は、登校はせずに外出を控え、自宅療養に努めて下さい（**→クラス担任に連絡**）。かかりつけ医等を 受診する場合は、事前に電話にて相談し、指示を受け受診して下さい。

3. 感染が疑われる場合の対応

1) 下記相談窓口に連絡し、支持を仰ぐ

ウイルス感染が疑われる場合の相談窓口は、各保健所等に開設している帰国者・接触者相談センター（以下「相談センター」という。）です。

※：新型コロナウイルス感染症コールセンター
・電話番号 0120-123-801（フリーダイヤル）
・受付時間 24時間対応（土日・祝日含む）

新型コロナウイルスへの感染の疑いで、相談センターに電話相談する目安は下記のいずれかの条件に該当する場合です。

◎風邪の症状や 37.5℃以上の発熱が4日以上続いている。（解熱剤を飲み続けなければならないときを含みます）

※ 高齢者や基礎疾患等のある方は、上の状態が2日程度続く場合

◎強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある。⇒直ちに相談を

➡ **大学に連絡の上、「有症状者用報告書」（様式1）を提出して下さい。**

2) 「相談センター」への相談結果及び帰国者・接触者外来受診の報告

相談センターに相談及び帰国者・接触者相談外来（以下、「専門外来」という）受診をした結果は、下記内容を含め、大学のクラス担任に電話（平日日中）またはyammer等で報告して下さい。

- ・新型コロナウイルスの検査実施の有無（結果判明日時の目安）
- ・相談センター、専門外来からの指示の有無（自宅待機などの指示がある場合はその内容）
- ・現在の体温と症状（風邪の症状、倦怠感、呼吸困難など）
- ・受診した場合は、受診日・医療機関名

相談センターへの相談、専門外来受診以降も体調不良が続く場合は、その間、自宅に待機し、現在の体温と症状等を「健康観察日誌」^{※1}に記録し、クラス担任に毎日 yammer 等にて報告して下さい。※1は yammer で事前に配付しています。

3) 検査結果の報告

□ 陽性の場合

陽性の場合には以下の内容をクラス担任に電話で至急報告して下さい。

- ・氏名、学科、学年、学籍番号、現在の連絡先
- ・判定日、検査日（受診医療機関名）、入院の有無（期間、医療機関名）
- ・自宅療養の有無（期間、療養場所）
- ・発症からの症状の経過
- ・発症以降の行動確認（濃厚接触者、学内登校出勤の有無等）

※：夜間休日に検査で陽性が判明した場合は、クラス担任へ至急連絡して下さい。

➡ **大学には「罹患者用報告書」（様式2）を提出して下さい。**

□ 陰性の場合

陰性の場合、以下の内容をクラス担任に電話（平日日中）又は yammer 等で報告して下さい。

- ・ 氏名、学科、学年、学籍番号、現在の連絡先
- ・ 検査機関等からの指示の有無（自宅待機や注意事項など）
- ・ 現在の体温と症状（風邪の症状、倦怠感、呼吸困難など）

なお、陰性の判定結果であっても体調不良が続く場合は、その間、自宅に待機し、現在の体温と症状等を「**健康観察日誌**」に記録し、毎日クラス担任等に yammer 等にて報告して下さい。

4) 登校の事前報告

検査以降、入院や自宅待機等を経て、登校しようとする場合は、前日までにクラス担任に yammer 等で報告して下さい。必要に応じ、大学から体調等を確認する場合があります。

4. 家族等が感染した場合等の対応

1) 同居している家族等に発熱等の症状がある場合

やむを得ず出席できない場合には、家族等の症状がなくなるまで欠席として扱いません。なお、やむを得ず出席できない場合とは、同居家族の発熱のほか、外国からの家族の帰国、家族が国の受診目安(強いだるさや息苦しさ等)に該当する場合などを想定しています。

2) 同居している家族等が感染した場合

感染した家族等と最後に濃厚接触をした日から起算して 14 日間を出席停止とします。

(添付資料)

- ・ 有症状者用報告書（様式 1）
- ・ 罹患者用報告書（様式 2）

新型コロナウイルス感染対策にむけた
報告書 (有症状者用)

報告日	令和		年		月		日	(第		日目)
所属				学 科				学 年		
学籍番号										
氏 名										

報告事項 (わかる範囲でご記入下さい。)

① 病状の経過 (いつ頃からどんな症状があった? 体温の経過は? 他に参考となる経過等)

② 同居家族の状態 (同居者がいる場合、同居者の症状や体調等・新型コロナウイルスの感染の有無)

③ 発症2日前までの行動 (出校状態や会合などへの出席等)

④ 新型コロナウイルス感染者との接触状況 (同居感染者との接触や流行地等への旅行)

(追記報告事項があれば、適宜、様式自由で記載可能)

新型コロナウイルス感染対策にむけた 報告書（罹患者用）

報告日	令和		年		月		日
所属			学科			学年	
学籍番号							
氏名							

報告事項（わかる範囲でご記入下さい。）

診断された医療機関				病院／			保健所
診断年・月・日	令和		年		月		日

① 診断までの症状の経過（いつ頃からどんな症状があった？ 体温の経過は？ 他に参考となる経過等）

② 同居家族の状態（同居者がいる場合、同居者の症状や体調等・新型コロナウイルスの感染の有無）

③ 発症2週間までの行動（出校状態や会合などへの出席・国内外への旅行歴等）

④ 新型コロナウイルス感染者との接触状況（感染者との接触や流行地等への出向等）

⑤ 発症してからの大学内での動線（出校通路・休憩場所やトイレ等：消毒を検討する箇所等）

（追記報告事項があれば、適宜、様式自由で記載可能）